

## 上郡町で近年確認された新参外来昆虫

大貝秀雄<sup>1)</sup>

近年、各地で外来昆虫の分布拡大に関する話題が多いが、上郡町においてもシタバニハゴロモ *Lycorma delicatula* (White, 1845) (高橋 2022)、チョウセンホソミコバチ *Sapyga coma* Yasumatsu et Sugihara, 1938 (大貝 2018)、キマダラカメムシ *Erthesina fullo* (Thunberg, 1783) (大貝 2013) などが報告されている。これら外来昆虫の多くは、人里に近い人為的な環境に発生する例が多く、そのような環境は上郡町でも豊富にあって、多くの外来昆虫を見ることが出来る。

本報告では筆者が上郡町内であらたに確認した、国内への侵入歴が比較的浅いと考えられている外来昆虫の記録をまとめて紹介する。なお、*Branchana xanthota* 以外の各種はすでに本誌をはじめとする刊行物での報告例が多く、かつ、一目瞭然の目立つ種ばかりなので標本の写真等は省略する。

### 台湾タケクマバチ

*Xylocopa tranquebarorum* (Swederus, 1787)

高田台 古墳公園; 1 ♀, 31. V. 2023, クリ (野生) を訪花。

与井新 千種川河川敷; 1 ♂, 18. VI. 2023, アカメガシワを訪花。

上郡, 鈴の宮公園でカエデを訪花する♂を目撃した

例 (31.III.2023) も本種の可能性が強く、上郡町には広く分布をひろげているものと思われる。

### ムネアカオオクロテントウ

*Synona consanguinea* Poorani, Ślipiński et Booth, 2008

西野山; 1 ex., 27. V. 2023. 与井新; 1 ex., 27. V. 2023.

2 個体ともに、古墳群を擁する小丘陵と田園とを境する農道沿いで得られた。このエリアにはクズが繁茂するポイントがあり、本種が上郡町に侵入すれば最初につかる場所であろうと考えていたのであったが、予想通りの結果となった。

### マツヘリカメムシ

*Leptoglossus occidentalis* Heidemann, 1910

金出地; 1 ♂, 24. IX. 2023. 金出地ダムの公衆便所内。

周辺にはアカマツが多い。

### クスベニヒラタカスミカメ

*Mansoniella cinnamomi* (Zheng et Liu, 1992)

与井; 1 ♂, 1.VI.2020. 与井; 2 ♂ 13 ♀, 7. VI. 2020. クスノキより。

当初その体型等より *Felisacus* 属かと誤認した。

### チュウゴクアミガサハゴロモ

*Ricania shantungensis* Chou & Lu, 1977

高田台; 1 ♀, 28. IX. 2022, 2 ♂ 1 ♀, 3. X. 2022, 1 ♀, 28. X. 2022.

アミガサハゴロモ *Pochazia albomaculata* (Uhler, 1896) に外見が似るが、大型である点で一見して区別可能である。

### *Branchana xanthota* Li, 2011 (図)

高田台; 8 ♂ 4 ♀, 24. IV. 2017, 夜間灯火に飛来 (大貝, 2022).

中国原産と考えられている、ヨコバイ科ヨコバイ亜科ヨシヨコバイ族の種であり、和名はない。小さく地味なためか、上記各種のように話題になってはいないものの、すでに国内各地への分布拡散が想定されている。というのは国内の記録が初めて報告されたのは 2018 年であるが、その時点で群馬・埼玉・東京・神奈川・愛知・石川・福岡から確認されていたからである。タケ類 (モウソウチク, マダケ, メダケ) を宿主とする (Kamitani,



図 *Branchana xanthota* ♂ (a: 背面, b: 側面), 体長 5.5mm.

<sup>1)</sup> Hideo OGAI 兵庫県上郡町

2018). 採集地の近隣には複数の竹藪があるので, それらより発生した成虫が飛来したのと思われる.

#### アカハネオンブバッタ

*Atractomorpha sinensis sinensis* Bolívar, 1905

行頭 安室ダムファミリー公園; 1 ♀, 7. X. 2021.

以上, 上郡町で近年あらたに確認された新参外来昆虫の数種について報告したが, 恐るべきヒアリ *Solenopsis invicta* Buren, 1972 やツマアカスズメバチ *Vespa velutina* Lepeletier, 1836 を始め, すでに国内に定着したと見られる多数の外来昆虫が分布拡大をうかがっている. 今後も目を離せない状況が続くのであろう.

#### 謝辞

チュウゴクアミガサハゴロモと *Branchana xanthota* を同定していただいた林正美名誉教授, ならびにクスベニヒラタカスミカメに関する問合せに快く回答をいただいた石川忠教授に深く感謝します.

#### 参考文献

- 春澤圭太郎・宮武頼夫, 2023. アミガサハゴロモに近似の外来種について (カメムシ目: ハゴロモ科). 月刊むし, (628): 38-40.
- 伊藤誠人, 2015. 兵庫県神戸市で採集されたマツヘリカメムシ. きべりはむし, 38(1): 26.
- Kamitani, S., 2018. First record of the alien bambooleafhopper, *Branchana xanthota*, in Japan (Hemiptera:Cicadellidae: Deltocephalinae). Zootaxa, 4508: 579-581.
- 神吉正雄, 2019. 兵庫県西宮市でムネアカオオクロテントウを記録. きべりはむし, 42(2): 59.
- 神吉正雄, 2019. アカハネオンブバッタとオンブバッタの生息状況 (1) - 芦屋市・西宮市・宝塚市南西部について -. きべりはむし, 41(2): 16-22.
- 宮下直也, 2022. 中国から来たかぐや姫タイワンタケクマバチ *Xylocopa tranquebarorum* (Swederus, 1787). 姫路科学館サイエンストピック科学の眼. (577): 1-2.
- 大貝秀雄, 2013. キマダラカメムシとその他のカメムシたち -Thunberg が見た日本の昆虫-. 月刊むし, (508): 28-35.
- 大貝秀雄, 2018. 兵庫県赤穂郡上郡町の住宅団地内 1 区画における昆虫相. 播磨長翅目研究センター, 上郡. 94pp.
- 大貝秀雄, 2022. 『兵庫県赤穂郡上郡町の住宅団地内 1

区画における昆虫相』の正誤リストならびに, この昆虫相に新たに追加される種名一覧. きべりはむし, 45(2): 61-65.

柴田剛, 2022. 兵庫県の播磨地域東部におけるアカハネオンブバッタの確認情報. きべりはむし, 45(2): 77.

高橋弘樹, 2022. 兵庫県におけるシタベニハゴロモの確認記録. きべりはむし, 45(1): 93-94.